



Cisco Unity 4.2 以降でサポートされる ハードウェアとソフトウェアおよび サポート ポリシー

Revised April 10, 2006

このドキュメントでは、Cisco Unity システム バージョン 4.2 以降でサポートされるハードウェアおよびソフトウェアの一覧と、ハードウェアとソフトウェアに関する Cisco Unity のサポート ポリシーを示します。このドキュメントは、次の 4 つのパートで構成されています。

パート 1 : Cisco Unity 4.2 以降でサポートされるハードウェア (P.2)

パート 2 : Cisco Unity 4.2 以降でサポートされるオプションのソフトウェア (P.10)

パート 3 : Cisco Unity のサポート ポリシー (P.14)

パート 4 : 関連資料 (P.21)

このドキュメントでサポート対象と記載されている以外、あるいは相互参照ドキュメントでサポート対象または必須と記載されている以外のアプリケーションまたはサービスの Cisco Unity サーバ上での実行は、サポートされていません。



(注)

Cisco Unity の要件については、適切なバージョンの『Cisco Unity システム要件』を参照してください。

パート 1 : Cisco Unity 4.2 以降でサポートされるハードウェア

- [サポートされる電話システム連動 \(P.3 \)](#)
- [サポートされるボイス カード \(P.7 \)](#)
- [サポートされるハードウェア \(オプション \)\(P.9 \)](#)
- [サポートされないハードウェア \(P.9 \)](#)
- [パート 2 : Cisco Unity 4.2 以降でサポートされるオプションのソフトウェア \(P.10 \)](#)
- [パート 3 : Cisco Unity のサポート ポリシー \(P.14 \)](#)
- [パート 4 : 関連資料 \(P.21 \)](#)

サポートされる電話システム連動

Cisco Unity は、適合性が確認された IP 電話システム（「サポートされる IP 電話システム連動」を参照）および適合性が確認された回線交換電話システム（「サポートされる回線交換電話システム連動」を参照）と連動します。Cisco Unity は、同時に複数の電話システムとの連動（http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_installation_and_configuration_guides_list.html にある『*Multiple Phone System Integration Guide for Cisco Unity 4.0*』を参照）もサポートします。

最近適合性が確認された電話システム連動用の電話コンフィギュレーション ファイル（.ini ファイル）のうち、Cisco Unity CD に未収録のファイルは、<http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unity> の「Other Cisco Unity Components Software Download」ページからダウンロードできます。

サポートされる IP 電話システム連動

- Cisco CallManager
- Cisco CallManager Express
- Cisco SIP Proxy Server

また、Cisco CallManager との連動では、リモート サイトで Cisco IOS プラットフォームにインストールされた Survivable Remote Site Telephony（SRST）をサポートします。

Cisco CallManager および Cisco CallManager Express でサポートされるバージョンについては、『*互換性マトリクス：Cisco Unity、Cisco Unity-CM TSP、Cisco CallManager、Cisco CallManager Express*』を参照してください。

AMIS Networking は、Cisco Unity が Cisco CallManager Express バージョン 3.2 以前と連動している場合、機能しません。http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch_bugtool.pl で Bug Toolkit の警告 CSCsb81232 を参照してください。

サポートされる回線交換電話システム連動



注意

Windows Server 2003 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合、ボイスカードと Dialogic ソフトウェアは正しく機能しません。したがって、Windows Server 2003 がインストールされた Cisco Unity サーバでは、ボイスカードを使用する回線交換電話システム連動はサポートされません。ただし、IP 連動（Cisco CallManager および SIP）と PIMG 連動は、Windows Server 2003 がインストールされた Cisco Unity サーバでサポートされています。

表1 サポートされる回線交換電話システム連動

電話システム	連動タイプ	サポートされるボイスカードとPBX-IPメディアゲートウェイ	その他の必須コンポーネント ¹
Alcatel 4400	DTMF	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> アナログ ケーブル
Avaya Definity G3	DTMF	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> アナログ ケーブル
	デジタル	デジタル PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> デジタル ケーブル LAN 接続
Avaya Definity Gx	シリアル (SMDI)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> PBXLink ボックス RS-232 シリアル ケーブル デジタル ケーブル アナログ ケーブル
Avaya Definity ProLogix	DTMF	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> アナログ ケーブル
	デジタル	デジタル PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> デジタル ケーブル LAN 接続
Avaya Merlin Legend	DTMF	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> アナログ ケーブル
Avaya S8300、 Avaya S8500、および Avaya S8700	デジタル	デジタル PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> デジタル ケーブル LAN 接続
Centrex (Avaya 1AESS、Avaya 5ESS、および Nortel DMS100)	シリアル (SMDI)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアル ケーブル 外付け統合モデム アナログ ケーブル フェールオーバーのみ：9ピン モデム データ スプリッタ
ECI Coral III (Tadiran Coral III という商品名でも販売されている)	シリアル (SMDI)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアル ケーブル アナログ ケーブル フェールオーバーのみ：9ピン モデム データ スプリッタ
Ericsson MD-110	シリアル	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアル ケーブル アナログ ケーブル フェールオーバーのみ：9ピン モデム データ スプリッタ

表 1 サポートされる回線交換電話システム運動 (続き)

電話システム	運動タイプ	サポートされるボイスカードと PBX-IP メディアゲートウェイ	その他の必須コンポーネント ¹
Fujitsu 9600	シリアル (SMDI)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアルケーブル アナログケーブル フェールオーバーのみ: 9 ピン モデム データ スプリッタ
Intecom E14 Millennium	シリアル (SMDI)	Intel Dialogic D/240PCI-T1 (24 ポートの T1 カード) のみ。P.7 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアルケーブル T1 ケーブル
Intecom IBX S/80	シリアル (SMDI)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアルケーブル アナログケーブル フェールオーバーのみ: 9 ピン モデム データ スプリッタ
Matra 6500	DTMF	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> アナログケーブル
Mitel SX-200	DTMF (ONS)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> アナログケーブル
Mitel SX-2000	DTMF (ONS)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> アナログケーブル
NEC NEAX 2000 MCI	シリアル (MCI)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアルケーブル アナログケーブル フェールオーバーのみ: 9 ピン モデム データ スプリッタ
NEC NEAX 2400 MCI	シリアル (MCI)	すべてのカード。P.7 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> RS-232 シリアルケーブル アナログ ケーブルまたは T1 ケーブル アナログ ボイス接続によるフェールオーバーのみ: 9 ピン モデム データ スプリッタ
	デジタル	デジタル PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> デジタルケーブル LAN 接続
Nortel Meridian 1	シリアル (SMDI)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> PBXLink ボックス RS-232 シリアルケーブル デジタルケーブル アナログケーブル
Nortel Meridian 1 (Succession および SL 1 を含む)	デジタル	デジタル PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> デジタルケーブル LAN 接続

表 1 サポートされる回線交換電話システム連動 (続き)

電話システム	連動タイプ	サポートされるボイスカードと PBX-IP メディアゲートウェイ	その他の必須コンポーネント ¹
QSIG または DPNSS 電話システム	IP	N/A	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco EGW 2200 • LAN 接続
Rockwell Spectrum ACD	シリアル (SMDI)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> • RS-232 シリアルケーブル • アナログケーブル • フェールオーバーのみ: 9 ピン モデム データ スプリッタ
Siemens 9751 9006i	DTMF	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> • アナログケーブル
Siemens Hicom 300 E (European)	DTMF	アナログ PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> • アナログケーブル • LAN 接続
Siemens Hicom 300 シリーズ E CS	DTMF	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> • アナログケーブル
	デジタル	デジタル PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> • デジタルケーブル • LAN 接続
Syntegra ITS (Cisco CallManager との既存の連動が必要)	シリアル (SMDI)	ボイスカードは使用しない。	<ul style="list-style-type: none"> • RS-232 シリアルケーブル • Syntegra SMDI ゲートウェイ • VoIP ゲートウェイ経由の QSIG E1/T1 接続 • フェールオーバーのみ: 9 ピン モデム データ スプリッタ
Teltronics 20-20 LX (以前の名称は Harris 20-20 LX)	DTMF	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> • アナログケーブル
Toshiba CTX 670	シリアル (SMDI)	D/240PCI-T1 を除くすべてのカード。P.7 の「サポートされるボイスカード」を参照。	<ul style="list-style-type: none"> • RS-232 シリアルケーブル • アナログケーブル • フェールオーバーのみ: 9 ピン モデム データ スプリッタ

1. これらのコンポーネントの推奨事項および詳細については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_installation_and_configuration_guides_list.html にある適切な Cisco Unity 関連のインテグレーションガイドを参照してください。



(注) 日本ではサポートの対象外です。

サポートされるボイスカード

表 2 に、Cisco Unity サーバでサポートされるボイスカードを示します。

Universal (3.3V DC/5V DC デュアル電圧) PCI バージョンの新しい Intel Dialogic D/120JCT-LS カードと D/120JCT-Euro カード(シングルバス電圧(5V DC)の旧型のカード以外)の使用を推奨します。

Cisco Unity バージョン 4.2 以降では、旧型 (リビジョン 1) の LS カードおよび LS-Euro カードも継続してサポートされます。ただし、このカードは Cisco Unity バージョン 4.2 以降の新規インストール用には注文できません。また、旧型の LS カードが使用できるのは Cisco Unity サーバまたは拡張シャーシの使用可能なスロットにカードが適合する場合だけです。



注意

D/120JCT-Euro Rev. 2 カードと、その他のボイスカード (D/120JCT-Euro Rev. 1 カードを除く) は併用できません。特に、Rev. 2 カードと D/41JCT-Euro は併用できません。

現在使用されている D/41E-PCI カードおよび D/240PCI-T1 カードは、Cisco Unity バージョン 4.2 以降でも継続してサポートされます。ただし、これらのカードは、新規システム用または既存システムのための代替品としては注文できません。詳細については、

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_eol_notice09186a008020b3c8.html にある『End-of-Sale and End-of-Life Announcement for the 4-Port Analog Conventional PCI and T1 Voice Integration Cards for Cisco Unity Software』を参照してください。

2 枚以上のカードがインストールされている場合、カードは H.100 ケーブルを使用して接続する必要があります。

ISA ボイスカードは、新規の Cisco Unity 4.2 以降のシステムでも Cisco Unity 4.2 以降にアップグレードした場合でもサポートされません。



注意

Windows Server 2003 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合、ボイスカードと Dialogic ソフトウェアは正しく機能しません。したがって、Windows Server 2003 がインストールされた Cisco Unity サーバでは、ボイスカードを使用する回線交換電話システム連動はサポートされません。ただし、IP 連動 (Cisco CallManager および SIP) と PIMG 連動は、Windows Server 2003 がインストールされた Cisco Unity サーバでサポートされています。

表 2 サポートされるボイスカード

カード	Intel Dialogic SKU ¹	カードの使用が認められている国 ²	互換性のあるカード	コネクタ
Intel Dialogic D/41E PCI (従来型の PCI、4 ポートのアナログカード)	なし (既存システムでの使用のみサポートされていて、注文はできません)	アメリカ合衆国、カナダ	D/120JCT-LS	RJ-11
Intel Dialogic D/41JCT-LS (uPCI、4 ポートのアナログカード)	D41JCTLS	アメリカ合衆国、カナダ	D/120JCT-LS	RJ-11

表2 サポートされるボイスカード（続き）

カード	Intel Dialogic SKU ¹	カードの使用が認められている国 ²	互換性のあるカード	コネクタ
Intel Dialogic D/41JCT-Euro (uPCI、4ポートのアナログカード)	D41JCTLSEURO	CE標準が要求されるすべての国、香港、オーストラリア、ニュージーランド	D/120JCT-Euro(Rev. 1) ³	RJ-11
Intel Dialogic D/120JCT-LS (従来型のPCI、Rev 1、12ポートのアナログカード)	D120JCTLS	アメリカ合衆国、カナダ、シンガポール、マレーシア、台湾、韓国、インド	D/41EPCI、 D/41JCT-LS、 D/120JCT-LS (Rev. 2)	RJ-14
Intel Dialogic D/120JCT-LS (uPCI、Rev 2、12ポートのアナログカード)	D120JCTLSU	アメリカ合衆国、カナダ、シンガポール、マレーシア、台湾、韓国、インド	D/41EPCI、 D/41JCT-LS、 D/120JCT-LS (Rev. 1)	RJ-14
Intel Dialogic D/120JCT-Euro (uPCI、Rev 1、12ポートのアナログカード)	D120JCTLSUEU (既存システムでの使用のみサポートされていて、注文はできません)	CE標準が要求されるすべての国、香港、オーストラリア、ニュージーランド	D/41JCT-Euro、 D/120JCT-Euro (Rev. 2)	RJ-14
Intel Dialogic D/120JCT-Euro (uPCI、Rev 2、12ポートのアナログカード)	D120JCTLSUEU2	CE標準が要求されるすべての国、香港、オーストラリア、ニュージーランド	D/120JCT-Euro(Rev. 1) ³	RJ-25
Intel Dialogic D/240PCI-T1 (従来型のPCI、24ポートのT1カード)	なし (既存システムでの使用のみサポートされていて、注文はできません)	アメリカ合衆国、カナダ	なし	RJ-45

1. SKU (stock-keeping unit) は Intel Dialogic がボイスカードに割り当てる製品 ID です。Intel Dialogic にボイスカードを発注するときに SKU を使用すると、確実に正しいバージョンの製品を注文することができます。
2. 特定の国または地域での適合性について疑問がある場合は、発注前にシスコにお問い合わせください。



(注) 日本ではサポートの対象外です。

3. D/120JCT-Euro (Rev 2) ボイスカードと D/41JCT-Euro ボイスカードを Cisco Unity サーバで併用しないでください。両方のタイプのボイスカードが同一の Cisco Unity サーバに存在する場合、これらのカードは正しく機能しません。

サポートされるハードウェア (オプション)

Cisco Unity 4.2 以降では次のオプションのハードウェアがサポートされています。

- 外付けモデム (pcAnywhere が Cisco TAC リモート アクセス方式として選択されている場合)。モデムはお客様に準備していただく必要があります。
- システムのバックアップ用のテープドライブ。
- Cisco Unity サーバにはテープ オートローダも接続できますが、大容量のバックアップや復元に使用する場合は、専用のバックアップ サーバへのネットワークによるバックアップを推奨します。
- シリアルケーブルで Cisco Unity に接続された無停電電源装置 (UPS)。
- SCSI コントローラを経由して RAID チャンネル上に直列に接続された追加の大容量ストレージ デバイスのチェーン。Cisco TAC は、このハードウェア設定、またはこのストレージ構成に関連する問題についてはサポートしません。この構成に関連した問題については、サーバのベンダーにご相談ください。
- フォールトトレランスのために、同一の IP アドレスを共有する 2 つ以上の NIC (アクティブ/パッシブ構成)。
- 一般接続向けの Cisco Unity サーバ、特に、Cisco Unity フェールオーバー ノード間のハートビートリンクには、ギガビットイーサネットを推奨します。ただし、必須ではありません。

次のアウトオブバンド管理カードが Cisco Unity 4.2 以降でサポートされています。

- Dell Remote Assistant Card バージョン 2.0
- Hewlett-Packard Integrated Lights Out (iLO)
- Hewlett-Packard Remote Insight Lights-Out Edition のすべてのバージョン
- IBM Remote Supervisor Adapter II のすべてのバージョン

また、Cisco Unity サーバをリモートで再起動するため、管理カードとの使用がサポートされているソフトウェアについては、P.13 の「サポートされるその他のオプションのソフトウェア」を参照してください。

サポートされないハードウェア

Cisco Unity との適合性が確認されていないハードウェアは、Cisco Unity サーバ上での使用やサーバへの接続がサポートされません。このため、トラブルシューティングの際に、Cisco TAC より、削除、接続解除、または無効化を求められます。

- ストレージ エリア ネットワーク (ファイバチャネル、インフィニバンド、IP パケット化などの、フレームまたはパケット スイッチ ファブリックを経由するリモート データ ストレージへの接続)。Cisco Unity ソフトウェア、必須の Microsoft コンポーネント、および関連ログファイル (またはこれらのうちのどれか) を、Cisco Unity サーバの一部である物理ディスク以外のディスクにインストールまたは再配置することはサポートされません。
- 複数の IP アドレスを使用する、2 つ以上の負荷バランス NIC (アクティブ/アクティブ構成)。NIC のアクティブ/アクティブ構成はサポートされません。

パート 2 : Cisco Unity 4.2 以降でサポートされるオプションのソフトウェア

- サポートされるアンチウイルス ソフトウェア (P.10)
- サポートされるファックス サーバソフトウェア (P.11)
- サポートされるモニタリングソフトウェア (P.12)
- サポートされるその他のオプションのソフトウェア (P.13)
- サポートされないサードパーティ製ソフトウェア (P.13)
- パート 1 : Cisco Unity 4.2 以降でサポートされるハードウェア (P.2)
- パート 3 : Cisco Unity のサポート ポリシー (P.14)
- パート 4 : 関連資料 (P.21)



注意

Cisco Unity との適合性が確認されているサードパーティ製ソフトウェアであっても、Windows Server 2003 との適合性はない場合があります。詳細については、各メーカーのドキュメントを確認してください。

サポートされるアンチウイルス ソフトウェア

次のアンチウイルス ソフトウェアは、シスコによって Cisco Unity 4.2 以降との適合性が確認されています。

- Computer Associates InoculateIT for Microsoft Windows NT and Windows 2000 バージョン 4.53 ビルド 627 以降
- McAfee
 - ePolicy Orchestrator バージョン 3.0 以降。ePolicy Orchestrator エージェントは、他のコンピュータに更新をプッシュするソースとして動作するのではなく、更新を受け入れるように設定されている場合にのみ、Cisco Unity サーバでの使用がサポートされます。
 - GroupShield Domino バージョン 5.0 以降
 - NetShield for Microsoft Windows NT and Windows 2000 バージョン 4.5 以降
 - VirusScan Enterprise バージョン 7.0 以降
- Symantec
 - AntiVirus Corporate Edition バージョン 8.1 以降
 - Norton AntiVirus for Lotus Notes/Domino バージョン 2.5 以降
 - Norton AntiVirus for Microsoft Exchange バージョン 2.13 以降
 - Norton AntiVirus for Microsoft Windows NT and Windows 2000 バージョン 5.02 以降
- Trend Micro
 - ScanMail for Lotus Notes バージョン 2.5 以降
 - ScanMail for Microsoft Exchange 2000 バージョン 5 以降
 - ServerProtect for Microsoft Windows バージョン 5.5 以降

P.15 の「アンチウイルス ソフトウェアについてのサポート ポリシー」を参照してください。

サポートされるファックス サーバソフトウェア

表 3 に、Exchange または Domino ゲートウェイがインストールされた環境で、Cisco Unity 4.2 以降との使用がサポートされるファックス サーバを示します。

ファックス サーバに、ファックス カード、ファックス サーバソフトウェア、専用ファックス回線をインストールします。Cisco Unity サーバへのファックス ソフトウェアのインストールはサポートされていません。サポートされているカードのリストと統合方法については、ファックス サーバのドキュメントを参照してください。

Cisco Unity 4.2 以降との使用がサポートされるファックス サーバは、Exchange ゲートウェイがインストールされ、ファックス ページに対するイメージストリップが 1 つだけとなるよう、画像の符号化に TIFF-F ファイル形式が使用されている環境では、VPIM との使用もサポートされています。

表 3 Cisco Unity との使用がサポートされるファックス サーバソフトウェア

ファックス サーバ	Microsoft Exchange	IBM Lotus Domino	VPIM
Biscom FAXCOM for Microsoft Exchange バージョン 6.19 以降	サポートされる	サポートされない	サポートされる
Captaris RightFax	サポートされる (バージョン 6.0 以降)	サポートされる (バージョン 8.0.0120 以降)	サポートされる (バージョン 6.0 以降)
蝶理情報ライトニング FAX バージョン 5.5 R48 以降	サポートされない	サポートされる	サポートされる
Cisco Fax Server	サポートされる	サポートされる	サポートされる
Esker Faxgate バージョン 7 以降	サポートされる	サポートされない	サポートされる
Fenestrae Faxination バージョン 4 以降	サポートされる	サポートされない	サポートされる
Interstar Technologies LightningFax バージョン 5.5 以降	サポートされる	サポートされない	サポートされる
Omtool Fax Sr. バージョン 3 以降	サポートされる	サポートされない	サポートされる
Optus FACSys バージョン 4.5 以降	サポートされる	サポートされない	サポートされる
TOPCALL のすべてのバージョン	サポートされる	サポートされない	サポートされる

サポートされるモニタリングソフトウェア

次のモニタリングソフトウェアは、シスコによって Cisco Unity 4.2 以降との適合性が確認されています。

- Adiscon EventReporter
- Concord SystemEDGE バージョン 4.1 以降
- Hewlett-Packard OpenView (サポートされているすべての Cisco Unity ハードウェア プラットフォームにおいて、Cisco Unity、SQL Server、および Exchange の各サービスの IP モニタリングがサポートされています)
- Microsoft
 - Management Console (MMC)
 - Network Provider Monitor
- NetIQ VoIP Manager for Cisco Unity バージョン 2.0 以降 (Cisco Unity サーバにはエージェントだけをインストールします)

P.18 の「[モニタリングソフトウェアについてのサポート ポリシー](#)」も参照してください。

サポートされるその他のオプションのソフトウェア

次のオプションのソフトウェアは、シスコによって Cisco Unity 4.2 以降との適合性が確認されています。

- Adobe Acrobat Reader バージョン 4.0
- American Power Conversion (APC) PowerChute Plus for Windows 2000 and Windows NT バージョン 5.2.1
- Dell OpenManage。Cisco Unity サーバをリモートで再起動するため、Dell Remote Assistant Card とともに使用する場合にサポートされます。
- Advanced Logic Industries (ALI) の GW-Unify Connector バージョン 2.01
- Hewlett-Packard Insight Manager。Cisco Unity サーバをリモートで再起動するため、Hewlett-Packard Remote Insight Lights-Out Edition カードとともに使用する場合にサポートされます。
- IBM Director。Cisco Unity サーバをリモートで再起動するため、IBM Remote Supervisor Adapter II とともに使用する場合にサポートされます。
- RSA
 - Authentication Agent 6.0 for Microsoft Windows (Windows Server 2003 が稼動する Cisco Unity システムでのみサポートされます)
 - SecurID ACE/Agent for Microsoft Windows の 5.0 以降(Windows 2000 Server が稼動する Cisco Unity システムでのみサポートされます)
- WinZip バージョン 7.0

P.18 の「オプションのソフトウェアについてのサポートポリシー」を参照してください。

サポートされないサードパーティ製ソフトウェア

Cisco Unity との適合性が確認されていないサードパーティ製ソフトウェアはサポートされません。このため、トラブルシューティングの際に、Cisco TAC より削除を求められます。

- Cisco Unity サーバ上のファックスソフトウェアは、サポートされません。
- Cisco Unity サーバ上の Microsoft Outlook は、サポートされません。
- Cisco Unity サーバ上のソフトウェア ベースの RAID は、サポートされません。

パート 3 : Cisco Unity のサポート ポリシー

- [AMIS ボイス メッセージ システムについてのサポート ポリシー \(P.15\)](#)
- [アンチウイルス ソフトウェアについてのサポート ポリシー \(P.15\)](#)
- [Apache Tomcat のアップグレードについてのサポート ポリシー \(P.15\)](#)
- [バックアップ ソフトウェアについてのサポート ポリシー \(P.16\)](#)
- [IBM Lotus Domino Critical Fixpack についてのサポート ポリシー \(P.16\)](#)
- [Microsoft サービス パックおよびアップデートについてのサポート ポリシー \(P.17\)](#)
- [モニタリング ソフトウェアについてのサポート ポリシー \(P.18\)](#)
- [オプションのソフトウェアについてのサポート ポリシー \(P.18\)](#)
- [VPIM ボイス メッセージ システムについてのサポート ポリシー \(P.19\)](#)
- [Windows 自動更新についてのサポート ポリシー \(P.20\)](#)
- [パート 1 : Cisco Unity 4.2 以降でサポートされるハードウェア \(P.2\)](#)
- [パート 2 : Cisco Unity 4.2 以降でサポートされるオプションのソフトウェア \(P.10\)](#)
- [パート 4 : 関連資料 \(P.21\)](#)

AMIS ボイス メッセージ システムについてのサポート ポリシー

Cisco Unity 4.2 以降 (Microsoft Exchange 版) および Cisco Unity 4.2 以降 (IBM Lotus Domino 版) は、Audio Messaging Interchange Specification アナログ (AMIS-a) プロトコル バージョン 1 をサポートします。このプロトコルにより、他のボイス メッセージ システムとの間でボイス メッセージの交換が可能になります。

シスコでは、Cisco Unity と、サードパーティ製ボイス メッセージ システム間でボイス メッセージを交換するために、お客様が AMIS Networking を使用できることをサポート ポリシーとしてしています。ただし、そのサードパーティ製のシステムが、AMIS-a バージョン 1 のプロトコルに準拠していることが条件となります。

Cisco Unity での AMIS の使用方法については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicews/ps2237/products_feature_guides_list.html にある適切なバージョンの『Networking in Cisco Unity Guide』を参照してください。

AMIS Networking は、Cisco Unity が Cisco CallManager Express バージョン 3.2 以前と連動している場合、機能しません。http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch_bugtool.pl で Bug Toolkit の警告 CSCsb81232 を参照してください。

アンチウイルス ソフトウェアについてのサポート ポリシー

シスコのサポート ポリシーは、お客様による Cisco Unity サーバへのサードパーティ製ウイルス検出ソフトウェアの配置を認めています。ただし、シスコでは、お客様 (またはお客様のシステム統合パートナー) がこうした製品を配置する前に、Cisco Unity との相互運用性を十分にテストして、Cisco Unity と Cisco Unity サーバにロードされたサードパーティ製品との問題が、実稼動環境で発見されるリスクを最小限に抑えることを期待しています。

問題が発生してお客様が Cisco TAC に連絡した場合、Cisco TAC エンジニアは、トラブルシューティングの過程で、こうしたサードパーティ製ソフトウェアの無効化や Cisco Unity サーバからの削除を求める場合があります。サードパーティ製ソフトウェアと Cisco Unity との相互運用性が問題の直接的な原因であることが判明した場合は、Cisco Unity システムの機能性を継続してご利用いただくために、相互運用性の問題が解決するまで、サードパーティ製ソフトウェアの無効化または Cisco Unity サーバからの削除が必要となります。

認定済みの Microsoft サービス パックを Cisco Unity サーバにインストールする場合は、Cisco Unity サーバにインストール予定の (あるいはインストール済みの) オプションのサードパーティ製ソフトウェアまたはハードウェアについても、該当するサービス パックをサポートしているかどうかメーカーに確認してください。

Apache Tomcat のアップグレードについてのサポート ポリシー

Apache Tomcat ソフトウェアは、Cisco Unity ソフトウェアのインストール時に自動的に Cisco Unity サーバにインストールされます。Tomcat ソフトウェアは Cisco Personal Communications Assistant (PCA) の機能を使用できるようにカスタマイズされているため、Tomcat ソフトウェアのアップデート バージョンを Apache の Web サイトからダウンロードして Cisco Unity サーバにインストールすることはサポートされていません。インストールした場合、Cisco PCA が適切に動作しなくなります。

バックアップソフトウェアについてのサポート ポリシー

シスコのサポート ポリシーは、お客様による Cisco Unity サーバへのサードパーティ製バックアップソフトウェアの配置を認めています。ただし、シスコでは、お客様（またはお客様のシステム統合パートナー）がこうした製品を配置する前に、Cisco Unity との相互運用性を十分にテストして、Cisco Unity と Cisco Unity サーバにロードされたサードパーティ製品との問題が、実稼動環境で発見されるリスクを最小限に抑えることを期待しています。

問題が発生してお客様が Cisco TAC に連絡した場合、Cisco TAC エンジニアは、トラブルシューティングの過程で、こうしたサードパーティ製ソフトウェアの無効化や Cisco Unity サーバからの削除を求める場合があります。サードパーティ製ソフトウェアと Cisco Unity との相互運用性が問題の直接的な原因であることが判明した場合は、Cisco Unity システムの機能性を継続してご利用いただくために、相互運用性の問題が解決するまで、サードパーティ製ソフトウェアの無効化または Cisco Unity サーバからの削除が必要となります。

認定済みの Microsoft サービス パックを Cisco Unity サーバにインストールする場合は、Cisco Unity サーバにインストール予定の（あるいはインストール済みの）オプションのサードパーティ製ソフトウェアまたはハードウェアについても、該当するサービス パックをサポートしているかどうかメーカーに確認してください。

Cisco Unity のバックアップについては、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_maintenance_guides_list.html にある適切なバージョンの『Cisco Unity Maintenance Guide』を参照してください。

IBM Lotus Domino Critical Fixpack についてのサポート ポリシー

Critical Fixpack はすべて自動的にサポートされます。

Microsoft サービス パックおよびアップデートについてのサポート ポリシー

Microsoft では、Windows Server 2003、Windows 2000 Server、Exchange Server 2003、Exchange 2000 Server、SQL Server 2000、MSDE 2000、Internet Explorer、および IIS のアップデートを毎月提供しています。これらのアップデート（セキュリティ ロールアップ パッチ、セキュリティ アップデート、クリティカル アップデート、パッチ、およびホットフィックスなど、さまざまな名前と呼ばれる）は、特定の問題を修正する変更に限定されています。一般的な欠陥の修正や新しい機能は、これらには含まれていません。シスコはこれらすべての Microsoft アップデートに対して、Microsoft がリリースしたその日から適合性を確認します。いつ Cisco Unity サーバまたは Cisco Unity Bridge サーバをアップデートするかを決定するため、サーバソフトウェア メンテナンス ポリシーに従って Microsoft アップデートを評価することを推奨します。社内にそのようなポリシーがない場合は、Microsoft アップデートがリリースされた時点で、それをサーバに適用することを推奨します。Cisco TAC では、このようなアップデートがインストールされている Cisco Unity システムへのサポートを提供します。

また、Microsoft では、一般製品のリリース以降に作成された修正を含むサービス パックをリリースすることがあります。これには、アップデートとしてリリースされた修正のほとんどが含まれます。サービス パックの対象は広範囲なので、変更によって Cisco Unity または Cisco Unity Bridge に悪影響が出ないように、各サービス パックを徹底的にテストする必要があります。Cisco TAC は、Cisco Unity または Bridge と新しいサービス パックとの適合性が確認されるまでは、それらのサービス パックをサポートしません。

適合性が確認されていないサービス パックは、インストールしないでください。Cisco TAC では、そのようなサービス パックをアンインストールしない限り、問題解決の支援を行いません。

シスコでは、適用可能な Microsoft サービス パックがリリースされてから 60 日以内に、そのサービス パックをリリース済みの Cisco Unity および Bridge の各バージョンに適用できるかどうかを発表します。適用できる場合、新しいサービス パックは Cisco Unity および Bridge の推奨サービス パックとなります。

アップデートおよびサービス パックは、IBM Lotus Domino サーバや Exchange メール サーバなどの Cisco Unity 以外のサーバにも適用できます。そのようなアップデートおよびサービス パックが、シスコ製品とお客様のインフラストラクチャ間の相互作用に関連する特定の問題を解決するものでない限り、シスコはそれらのアップデートやサービス パックをインフラストラクチャのサーバおよびクライアントに適用することを要求しません。メール サーバのサービス パックを適用する際は、組織内のすべてのメール サーバにサービス パック レベルを適用する Microsoft のベスト プラクティスに従うことを推奨します。メール サーバ、ドメイン コントローラ、およびグローバル カタログ サーバに加え、クライアント PC とボイスメール アクセス装置（PDA など）はすべて、お客様のインフラストラクチャの一部と考えられます。

シスコは、Cisco Unity および Bridge のメジャー リリースとマイナー リリースに対して推奨される指定の Microsoft コンポーネントのサービス パックを、最大 2 つまでサポートします。シスコでは、後続のサービス パックがリリースされると、Cisco Unity または Bridge の次のメジャー リリースまたはマイナー リリースにおいて推奨されていた最も古いサービス パックに対するサポートを打ち切ります。

サービス パックを Cisco Unity または Bridge と使用することが推奨として認められている場合、その推奨サービス パックをサポートするために特定のシスコ製品のバージョンが必須であるとの断りがない限り、このサービス パックは Cisco Unity または Bridge の現在サポートされているすべてのバージョンでサポートされます。

モニタリングソフトウェアについてのサポート ポリシー

シスコのサポート ポリシーは、お客様による Cisco Unity サーバへのサードパーティ製モニタリングソフトウェアの配置を認めています。ただし、シスコでは、お客様（またはお客様のシステム統合パートナー）がこうした製品を配置する前に、Cisco Unity との相互運用性を十分にテストして、Cisco Unity と Cisco Unity サーバにロードされたサードパーティ製品との問題が、実稼動環境で発見されるリスクを最小限に抑えることを期待しています。

問題が発生してお客様が Cisco TAC に連絡した場合、Cisco TAC エンジニアは、トラブルシューティングの過程で、こうしたサードパーティ製ソフトウェアの無効化や Cisco Unity サーバからの削除を求める場合があります。サードパーティ製ソフトウェアと Cisco Unity との相互運用性が問題の直接的な原因であることが判明した場合は、Cisco Unity システムの機能性を継続してご利用いただくために、相互運用性の問題が解決するまで、サードパーティ製ソフトウェアの無効化または Cisco Unity サーバからの削除が必要となります。

認定済みの Microsoft サービス パックを Cisco Unity サーバにインストールする場合は、Cisco Unity サーバにインストール予定の（あるいはインストール済みの）オプションのサードパーティ製ソフトウェアまたはハードウェアについても、該当するサービス パックをサポートしているかどうかメーカーに確認してください。

オプションのソフトウェアについてのサポート ポリシー

シスコのサポート ポリシーは、お客様がバックアップ、モニタリング、およびセキュリティのために Cisco Unity サーバにサードパーティ製ソフトウェアを配置することを認めています。ただし、シスコでは、お客様（またはお客様のシステム統合パートナー）がこうした製品を配置する前に、Cisco Unity との相互運用性を十分にテストして、Cisco Unity と Cisco Unity サーバにロードされたサードパーティ製品との問題が、実稼動環境で発見されるリスクを最小限に抑えることを期待しています。

問題が発生してお客様が Cisco TAC に連絡した場合、Cisco TAC エンジニアは、トラブルシューティングの過程で、こうしたサードパーティ製ソフトウェアの無効化や Cisco Unity サーバからの削除を求める場合があります。サードパーティ製ソフトウェアと Cisco Unity との相互運用性が問題の直接的な原因であることが判明した場合は、Cisco Unity システムの機能性を継続してご利用いただくために、相互運用性の問題が解決するまで、サードパーティ製ソフトウェアの無効化または Cisco Unity サーバからの削除が必要となります。

認定済みの Microsoft サービス パックを Cisco Unity サーバにインストールする場合は、Cisco Unity サーバにインストール予定の（あるいはインストール済みの）オプションのサードパーティ製ソフトウェアまたはハードウェアについても、該当するサービス パックをサポートしているかどうかメーカーに確認してください。

VPIM ボイス メッセージ システム についての サポート ポリシー

Cisco Unity 4.2 以降(Microsoft Exchange 2000/2003 版)および Cisco Unity 4.2 以降(IBM Lotus Domino 版)は Voice Profile for Internet Mail (VPIM) バージョン 2 をサポートします。この機能により、他のボイス メッセージ システムとの間でボイス メッセージ、ファックス、およびテキスト メッセージの交換が可能になります。VPIM は、Cisco Unity (Exchange 版) システムと Cisco Unity (Domino 版) システムとの間のメッセージ送受信など、異なるディレクトリを使用する Cisco Unity サーバ間でのメッセージ送受信に使用できます。

Cisco Unity がネットワーク接続されるリモートのボイス メッセージ システムは、同一の Exchange 組織内に Cisco Unity サーバとして存在することはできません。

シスコでは、Cisco Unity とサードパーティ製ボイス メッセージ システム間でボイス メッセージを交換するために、お客様が VPIM Networking を使用できることをサポート ポリシーとしています。ただし、そのサードパーティ製のシステムが、Internet RFC 2421 で定義された VPIM バージョン 2 の仕様に準拠していることが条件となります。適合性に関する説明書、および RFC 2421 VPIM バージョン 2 の仕様については、Open Group (opengroup.org) VPIM の Web サイトを参照してください。



(注)

Cisco Unity (Microsoft Exchange システム版) の場合、最新バージョンの Cisco Unity Voice Connector for Microsoft Exchange 2003 およびご使用の Cisco Unity のバージョンでサポートされる Exchange 2000 を使用することをお勧めします。VPIM の相互運用性に関する問題が発生してお客様が Cisco TAC に連絡した場合、Cisco TAC エンジニアは、サポートされる新しいバージョンの Voice Connector へのアップグレードを求めることがあります (可能な場合)。Cisco Unity VPIM ブリッジヘッドサーバと Voice Connector のサポートされるバージョンの組み合わせについては、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_device_support_table09186a0080531ba9.html にある『Cisco Unity Networking Options Requirements』を参照してください。

VPIM ファックス エンコーディングは TIFF-F 仕様に基づいています。Cisco Unity with VPIM でサポートされるファックスサーバについては、P.11 の「サポートされるファックスサーバソフトウェア」を参照してください。

Cisco Unity での VPIM の使用方法については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_feature_guides_list.html にある適切なバージョンの『Networking in Cisco Unity Guide』を参照してください。

Windows 自動更新についてのサポート ポリシー

Windows 自動更新 (WAU) は、[更新をダウンロードする前に通知し、コンピュータにインストールする前に再度通知する] オプションが選択されている場合、Cisco Unity 4.2 以降のサーバ、および Cisco Unity Bridge 2.1(x) または 3.0(x) サーバでサポートされます (Cisco Unity プラットフォーム コンフィギュレーション ディスク リビジョン 12 以降を使用して、Cisco Unity または Bridge サーバのプラットフォームを構成する場合は、WAU は無効になります)。



注意

WAU は、アップデートをチェックするためだけに構成し、アップデートをインストールするためには構成しません。Microsoft アップデートのほとんどは、入手可能になったらすぐに、Cisco Unity または Bridge サーバにインストールできます。ただし、Microsoft サービス パックに対しては、Cisco Unity および Bridge での適合性を確認する必要があります。WAU では、サービス パックとその他のアップデートを区別できません。

WAU のメリットは、その多くが Windows のセキュリティの脆弱性に対処するパッチに関連するものです。Cisco Unity サーバをボイス メッセージ用に構成し、ネットワークやインターネットに接続しない場合、WAU からのアップデートによって防げるようなセキュリティの脆弱性は、サーバには存在しません。ボイス メッセージの構成では、WAU を使用するためだけに Cisco Unity サーバをインターネットに接続しないようにしてください。

パート 4 : 関連資料

互換性に関する情報

互換性に関する情報については、Cisco.com にある次のドキュメントを参照してください。

- *互換性マトリクス : Cisco Unity とユーザワークステーション上のソフトウェア*
- *互換性マトリクス : Cisco Unity、Cisco Unity-CM TSP、Cisco CallManager、Cisco CallManager Express*
- *Cisco Unity Networking Options Requirements*
(http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_device_support_table09186a0080531ba9.html)
- *Recommended Service Packs and Updates for Use with Cisco Unity and the Cisco Unity Bridge*
(http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_device_support_table09186a0080531aab.html)

要件情報

要件に関する情報については、Cisco.com にある次のドキュメントを参照してください。

- *Cisco Unity Bridge System Requirements, and Supported Hardware and Software*
(http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_installation_guides_list.html)
- *Cisco Unity Networking Options Requirements*
(http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_device_support_table09186a0080531ba9.html)
- *Cisco Unity システム要件*

CCSP、CCVP、Cisco Square Bridge のロゴ、Follow Me Browsing、および StackWise は Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Access Registrar、Aironet、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Cisco Unity、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、FormShare、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、ScriptShare、SlideCast、SMARtNet、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、および TransPath は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0601R)

このドキュメントで使用しているインターネット プロトコル (IP) アドレスは、実在のアドレスではありません。ドキュメント中で示される例、コマンドの画面出力、および図は、いずれも視覚的な説明のみを目的としています。実在する IP アドレスが例示されていた場合、それらは意図して使用したものではありません。

Copyright © 2006 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501